

<p>【教育目標】 一人一人の障がいの程度と発達段階に応じた教育を行い、障がいによる様々な困難を克服するために必要な知識、技能、態度を養い、心豊かに明るく、社会で自立し、たくましく生き抜くことができる幼児児童生徒を育成する。</p> <p>【学校経営ビジョン】 幼児児童生徒の自立と社会参加に向けて、何事にも前向きに捉え失敗を恐れずに挑戦し、自ら考え、社会でたくましく生き抜く力の育成を目指し、きめ細やかな教育活動を実践し、保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりを進める。 ～自分の手で触り、自分の耳で聴き、自分の心で感じ、自分の頭で考える～ 【社会の一員として、人と関わりながらたくましく生きていくために育成したい力】 ①コミュニケーション能力 ②思考力 ③自己決定力 ④体力 ⑤感謝する心</p>				
<p>【評価基準】 4：期待以上である 3：ほぼ期待どおりである 2：やや期待を下回る 1：改善を要する</p>				
重点目標及び努力事項	学校職員 (平均値)	保護者 (平均値)	学校評議員 (平均値)	学校評議員の意見
<p>目標1 幼・小・中・高・寄宿舎までの一貫した教育の推進</p>	/		3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中高、寄宿舎までの教育が、同じ方針に基づいてなされている。また、一人一人について、その個性をどう伸ばすか、本人の思いをどう生かすか、真剣に向き合っている。就職・進学等で、その結果が現れてきている。 ・各学部の教職員の指導により幼児児童生徒が成長している。
<p>ア 発達段階に応じた幼・小・中・高・寄宿舎一貫したキャリア教育を推進する。</p>	2.7	3.1		
<p>イ 一人一人の実態に応じた根拠に基づく幼・小・中・高一貫した教育課程の充実を図る。</p>	2.9	3.2		
<p>目標2 視覚障がい教育としての専門性・専門的指導力の向上</p>	/		3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・基本研修を実施されて指導力の向上に努めており、九州地区盲学校教育研究大会宮崎大会を実施して、他県の先生方との協議や意見交換などで成果をあげている。 ・理療科においては、卒業後、即戦力となれるよう、試験対策や技術力の向上に向けた実習や講習会の実施などに努めている。ヘルスキーパーが初めて誕生した。 ・寄宿舎においては、自治会の活動としていろいろな行事を行われている。その中で社会性や話し合いによる意見集約などの能力が培われている。 ・進路の実現に向けて尽力している。特に、大学にも訪問して大学側とのいろいろな話し合い等、努力したことが生徒や卒業生などの素晴らしい成果につながったものである。 ・教職員の日頃の努力により、横の連携もとりながら、幼児児童生徒が、充実した楽しい学校生活を送れるように工夫されている。 ・寄宿舎での生活は生徒にとってとても大切な経験になっている。
<p>ア 組織的な研修・研究の充実を図る。</p>	2.9	3.3		
<p>イ 視覚障がい教育の専門性及び授業力の向上に努める。</p>	2.9	3.2		
<p>ウ 自立活動の充実を図る。</p>	2.7	3.3		
<p>エ ICT機器を活用した教育活動及び生活の充実を図る。</p>	2.9	3.2		
<p>目標3 進路指導の充実</p>	/		3.5	
<p>ア 一人一人の進路実現に向けた積極的な進路指導を展開する。</p>	2.8	3.1		
<p>イ 職場体験学習、現場実習及び施設等見学の充実を図る。</p>	3.0	3.3		
<p>ウ あはき師国家試験の合格に向けて積極的に支援する。</p>	3.0	3.3		
<p>エ ヘルスキーパー等の進路開拓を推進する。</p>	2.7	3.3		
<p>オ 卒業生のフォローアップに努める。</p>	2.8	3.1		

目標4 安心・安全な学校生活の保障			3. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練が定期的に行われていることは大変重要なことである。いつ発生するかわからない災害が起こった時、状況をできるだけ正しく判断し、適切な行動を取るということは大変難しいことであるが、迅速に避難するということも考慮してはどうか。 ・不審者対応訓練を実施して安心安全な学校生活の保障をしたり、卒業生のフォローアップを実施したりと、現在在籍している生徒たちにも卒業生たちにも幅広く対応がされている。
ア 様々な危機に対応できる危機管理体制の充実を図る。	2. 8	3. 3		
イ 計画的な防災・避難訓練、防災教育を強化する。	3. 0	3. 4		
ウ 教育活動全般における安全な教育環境に係る安全点検を徹底し、改善に努める。	3. 0	3. 4		
目標5 地域社会とつながる学校の推進			3. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部とも他の学校との交流や地域での交流、職場体験など多様な工夫をしながら学習効果をあげている。 ・少人数での学校生活は、経験値が乏しくなってしまうが、関連各方面とも交流をもち、社会性を身につけさせようと努力している。
ア 医療・福祉・教育・労働等の関係機関と連携した教育活動を推進する。	2. 8	2. 9		
イ 交流及び共同学習の充実を図る。	3. 0	3. 1		
ウ 宮崎県内の視覚障がい教育におけるセンター的機能を強化する。	2. 9	3. 1		
目標6 教職員の働き方の改善			3. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での学校生活は、経験値が乏しくなってしまうが、関連各方面とも交流をもち、社会性を身につけさせようと努力している。
ア 各会議のスリム化と効率的な運営方法の工夫に努める。	2. 5			
イ 職員間のサポート体制を構築（校内のOJT・メンター制）する。	2. 6			